

令和8年 8月 1日

発行：大島交流センター

電話：45-1006

ニュース・報

お寄せください。



～重点目標～

- 1) 高齢者が楽しみながら健康維持できる推進事業
- 2) 歴史と自然を守り 伝統文化の伝承
- 3) 住民どうしのつながりと 安全・安心なまちづくり

念仏踊り・太鼓の練習のご案内

★日時：令和8年8月5日（水）、7日（金）
午前10～

★場所：大島交流センター・会議室

★問合せ：大島交流センター ☎45-1006



◎古来より大島に伝わる伝統文化である「念仏踊り」を後世に伝承するため一人でも多くの方に参加していただき、大島夏祭りで踊っていただきたいと思います。

大島連合自治会よりご案内

大島連合自治会長 矢野 秀綱

暑中お見舞い申し上げます。

さて、暑い中7月10日（金）に行われました令和8度中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練にご参加いただいた皆様ありがとうございました。

まだまだ、猛暑が続きますので、お体を大切にお過ごしください。

「伝統文化 念仏踊り」の継承と大島夏まつりについて

今年も、伝統行事「念仏踊り」を継承しながら、多彩な夏まつりを開催いたします。

○開催日時：令和8年8月14日（金）17:30～20:00

○会 場：大島診療所南広場
雨天時：大島交流センター体育館

○内 容：「伝統文化念仏踊り」の継承と大島夏まつりのご案内」を各ご家庭に配布いたします。

★出 演：浜っ鼓★弾★DAN、ジェリービーンズ

☆出 店：いいに飯・焼きそば・フランクフルト他

☆キッチンカー：お楽しみ♪



8月 行事予定

4日（火）	館長部会
5日（水）	講座：念仏踊り・太鼓の練習
7日（金）	
10日（月）	プール最終日
11日（火）	山の日：休館日
14日（金）	大島夏祭り
26日（水）	大島連合自治会会長会
28日（金）	だれでも食堂



※今月の「島カフェ」は、お休みです！



大島の伝統行事

「大島のとうど」

一辺が三米前後、高さ六米から七米の四角錐を孟宗竹で組み、中心に十米位の心棒を入れ、これに大幟を立てる。側は年末に使ったスス竹をしめ縄で巻き付ける。

3分の1位の所に横に二本の竹（こうが）を通して子幟をくくりつけて終わる。大幟には部落の名前、小幟には男の子の名前を書く。（大幟も小幟も作り方は全く同じ）材料は子供が集め、とうどは大人が作る。後は子供が管理していたが、今は過疎化のため子供がいないので、すべて大人の手によって行われている。

これは、大島では古く平安朝以前からあったと云われる。徳川時代も盛んであった。

（昭和四十年代までの子供組の組織）

十三才・・・水くみ	（見習雑役）
十四才・・・新入	（執行）
十五才・・・大将	（企画・運営）
十六才・・・喰い抜け	（相談役）

住宅用火災警報器

火災は、住宅や大切な財産を奪うばかりでなく、身体・生命をおびやかします。特に、住宅火災では死者が多く出ており、その死亡原因の約7割が深夜の逃げ遅れとなっています。住宅火災による死者を防ぐためには、火災の早期発見と早期避難が最も大切です。

そこで、いち早く火災を発見するために、平成23年6月からすべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務化となりました。万が一の住宅火災から大切な「命」や「財産」を守るためにも、まだ設置できていない方は早急に設置しましょう。

※注意



住宅用火災警報器には、国の定める技術上の規格があり、その規格に適合する製品には合格の表示がされています。

平成26年4月1日以降から、「検定マーク」の適合表示が付された製品が検定制度による適合品として販売、設置されています。

「鑑定NSマーク」が表示されている住宅用火災警報器については、検定品と同等の性能を有するとして平成31年3月31日まで販売されていたものになります。

購入の際は、日本消防検定協会の「検定マーク」のついたものを選びましょう。

日常生活で気を付けたい熱中症対策

日本の平均気温は、年々上昇傾向です。気温や湿度が高い日は、屋内外を問わず熱中症のリスクが高まります。暑い時は涼しい場所で過ごし、水分・塩分の補給や体を冷やすことを心がけましょう。

◎段階別に見る熱中症の症状

1. 軽症（現場での応急手に対応可能なレベル）

- めまい、立ちくらみ、生あくび
- 大量の発汗
- 筋肉痛、手足のつり（こむら返り）



2. 中等症（医療機関での診察必要なレベル）

- 強い頭痛、吐き気、嘔吐
- 全身の強いだるさ（倦怠感）
- ぼーっとする、体がぐったりする（虚脱感）



3. 重症（命の危険があるため、救急車を呼ぶべきレベル）

- まっすぐ歩けない
- 高体温（触ると熱いなど）



◎熱中症が疑われる時の応急処置

- 涼しい場所へ避難：エアコンが効いた室内や風通しの良い日陰に移動させます。
- 衣服をゆるめる：体の熱を逃がすために、ベルトやネクタイ、きつい服をゆるめます。
- 体を冷やす：首回り、脇の下、太ももの付け根（股関節部分）などに保冷剤や氷をあてて、太い血管を冷やします。
- 水分・塩分補給：冷えたスポーツドリンクや経口補水液を飲ませます。ただし、意識がろうとしている場合や嘔吐がある場合は、無理に飲ませると窒息する危険があるため直ちに病院へ搬送してください。

納期限のお知らせ

8月31日(月)

市県民税（普通徴収）

【第2期】

期限内に納付をお願いいたします